

総合評価対象物質の個別物質リスト
(文献調査結果・エームス評価結果整理表)
目次

	評価担当委員	作業用 番号	CAS番号	試験番号	物質名 (和名)
1	荒木委員	35	75-89-8	T-1435	2, 2, 2-トリフルオロエタノール
2	荒木委員	40	78-40-0	T-1436	りん酸 トリエチル
3	荒木委員	47	78-84-2	T-1437	イソブチルアルデヒド
4	荒木委員	55	79-92-5	T-1438	2,2-ジメチル-3-メチレンビシクロ[2.2.1]ヘプタン
5	荒木委員	69	89-84-9	T-1439	2', 4'-ジヒドロキシアセトフェノン
6	荒木委員	198	111-65-9	T-1440	n-オクタン
7	荒木委員	207	112-02-7	T-1441	ヘキサデシルトリメチルアンモニウム=クロリド
8	太田委員	221	112-42-5	T-1442	ウンデカン-1-オール
9	太田委員	253	121-57-3	T-1443	アニリンスルホン酸
10	太田委員	298	141-53-7	T-1444	ギ酸ナトリウム
11	太田委員	330	532-32-1	T-1445	安息香酸ナトリウム
12	太田委員	332	540-84-1	T-1446	2, 2, 4-トリメチルペンタン
13	太田委員	350	659-70-1	T-1447	イソ吉草酸3-メチルブチル
14	太田委員	353	687-47-8	T-1448	(2S)-2-ヒドロキシプロパン酸エチルエステル
15	清水委員	359	791-28-6	T-1449	トリフェニルホスフィンオキサイド
16	清水委員	370	1002-62-6	T-1450	デカン酸ナトリウム
17	清水委員	412	2461-15-6	T-1451	2-[[[(2-エチルヘキシル)オキシ]メチル]-オキシラン
18	清水委員	416	2495-39-8	T-1452	2-プロペンスルホン酸ナトリウム
19	清水委員	417	2530-83-8	T-1453	2-[[[3-(トリメトキシシリル)プロポキシ]メチル]-オキシラン
20	清水委員	441	3982-91-0	T-1454	塩化チオホスホリル
21	清水委員	456	5888-33-5	T-1455	アクリル酸=2-ボルニル
22	本間委員	493	7775-09-9	T-1458	塩素酸ナトリウム
23	本間委員	502	7789-23-3	T-1459	フッ化カリウム
24	本間委員	514	10025-78-2	T-1460	三塩化シラン
25	本間委員	516	10026-04-7	T-1461	四塩化ケイ素
26	本間委員	518	10043-01-3	T-1462	硫酸アルミニウム
27	本間委員	522	10361-37-2	T-1463	塩化バリウム
28	山田委員	527	12069-69-1	T-1464	炭酸銅(II)
29	山田委員	529	13463-41-7	T-1465	2-メルカプトピリジン N-オキシド 亜鉛
30	山田委員	538	16090-02-1	T-1466	ジナトリウム=2, 2'-ビニレンビス[5-(4-モルホリノ-6-アニリノ-1, 3, 5-トリアジン-2-イルアミノ)ベンゼンスルホナート]
31	山田委員	541	16721-80-5	T-1467	硫化水素ナトリウム
32	山田委員	550	20324-33-8	T-1468	トリプロピレングリコールモノメチルエーテル
33	山田委員	580	36653-82-4	T-1469	1-ヘキサデカノール

1 物質番号

作業用番号	35
CAS番号	75-89-8

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標（比活性値、D20値）			（適用、非適用）	（適用、非適用）		（プレート法、ブレインキューベーション法、ガスばく露法）	
1)	エームス試験（1）	陰性		不明	Blake et al.	不明	不明	TA 100 TA 98 TA 1535	ガスばく露法	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1435	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
PubMed, Toxlineデータ	原著論文	Blake et al.	Absence of mutagenic activity of trifluoroethanol and its metabolites in Salmonella typhimurium.	Fundamental and Applied Toxicology 1: 415-418.				

1 物質番号

作業用番号	40
CAS番号	78-40-0

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1996	Bayer	不明	不明	S. typhimurium his C117	不明	不明
2)	HPRT試験(1)	陰性		1996	Bayer	不明	不明	V79	不明	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1436	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Bayer						
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Bayer						

1 物質番号

作業用番号	47
CAS番号	78-84-2

2 試験結果(文献調査による)

エームス試験の詳細										
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況 (適用、非適用)	GLP適用 状況 (適用、非適用)	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法 (プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)							
1)	エームス試験(1)	陰性		不明	Dillon D. Combes R. Zeiger E.	不明	不明	TA 100 TA 102 TA 104	ブレインキュー ベーション法	不明
2)	染色体異常試験(1)	疑陽性		1987	Galloway et al	不明	不明	CHO		
3)	in vivo 小核試験(1)	陰性		1993	Shelby et al	不明	不明	mouse(雄) /B6C3F1/		
4)	in vivo 小核試験(2)	陰性		1993	Shelby et al	不明	不明	rat(雄) /F344/N/		
5)	MLA(1)	陽性		1985	Myhr et al	不明	不明	L5178Y		
6)	in vivo 染色体異常試 験(1)	陽性		1986	Margolin et al	不明	不明	mouse(雄) /B6C3F1/		
7)	SLRL試験(1)	陰性		1985	Woodruff et al.	不明	不明	Drosophila melanogaste r		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1437	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
内閣府食品安全委員会: 食品健康影響評価 Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	Dillon D, Combes R, Zeiger E.	The effectiveness of Salmonella strains TA100, TA102 and TA104 for detecting mutagenicity of some aldehydes and peroxides.	Mutagenesis. 13: 19-26				
内閣府食品安全委員会: 食品健康影響評価	試験報告書		NTP technical report on the toxicology and carcinogenesis studies of isobutyraldehyde (CAS no. 78-84-2) in F344/N rats and B6C3F ₁ mice (inhalation studies).					
内閣府食品安全委員会: 食品健康影響評価	試験報告書		NTP technical report on the toxicology and carcinogenesis studies of isobutyraldehyde (CAS no. 78-84-2) in F344/N rats and B6C3F ₁ mice (inhalation studies).					
内閣府食品安全委員会: 食品健康影響評価	試験報告書		NTP technical report on the toxicology and carcinogenesis studies of isobutyraldehyde (CAS no. 78-84-2) in F344/N rats and B6C3F ₁ mice (inhalation studies).					
内閣府食品安全委員会: 食品健康影響評価	試験報告書		NTP technical report on the toxicology and carcinogenesis studies of isobutyraldehyde (CAS no. 78-84-2) in F344/N rats and B6C3F ₁ mice (inhalation studies).					
内閣府食品安全委員会: 食品健康影響評価	試験報告書		NTP technical report on the toxicology and carcinogenesis studies of isobutyraldehyde (CAS no. 78-84-2) in F344/N rats and B6C3F ₁ mice (inhalation studies).					
内閣府食品安全委員会: 食品健康影響評価	試験報告書		NTP technical report on the toxicology and carcinogenesis studies of isobutyraldehyde (CAS no. 78-84-2) in F344/N rats and B6C3F ₁ mice (inhalation studies).					

1 物質番号

作業用番号	55
CAS番号	79-92-5

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1985	Conner, T. H. et al.	不明	不明	TA 98 TA 100 UTH8413 UTH8414	不明	不明
2)	エームス試験(2)	陰性		1985	Treudler R., Richter G., Geier J., Schnuch A., Orfanos C., Tebbe B	不明	不明	TA 98 TA 100 UTH8413 UTH8414	不明	DMSO
3)	エームス試験(3)	陽性	一次文献なし	1979	Rockwell P. and Raw, I.	不明	非適用	TA 98 TA 100	不明	不明
4)	in vivo 小核試験(1)	陰性		不明	Hoechst A.G.	適用	不明	mouse/NMR I/		
5)	SCE試験(1)	陰性		1989	Treudler R., Richter G., Geier J., Schnuch A., Orfanos C., Tebbe B	不明	不明	CHO		
6)	in vivo 染色体異常試験(1)	陰性		1991	Treudler R., Richter G., Geier J., Schnuch A., Orfanos C., Tebbe B.	適用	適用	mouse/NMR I/		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1438	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Conner, T. H. et al.	Toxicology Letters	25, 33-40				
US EPA:HPV チャレンジ(評価済)	試験報告書	Treudler R., Richter G., Geier J., Schnuch A., Orfanos C., Tebbe B	Increase in sensitization to oil of turpentine: recent data from a Multicenter Study on 45,005 patients from the German-Austrian Information Network of Departments of Dermatology	Contact Dermatitis 2000 (42) 68-73				
US EPA:HPV チャレンジ(評価済)		Rockwell P. and Raw, I.	A mutagenic screening of various herbs, spices, and food additives.	Nutrition and Cancer, 1(4), 10-15.				
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Hoechst A.G.		91.0246				
US EPA:HPV チャレンジ(評価済)	試験報告書	Treudler R., Richter G., Geier J., Schnuch A., Orfanos C., Tebbe B	Increase in sensitization to oil of turpentine: recent data from a Multicenter Study on 45,005 patients from the German-Austrian Information Network of Departments of Dermatology	Contact Dermatitis 2000 (42) 68-73				
US EPA:HPV チャレンジ(評価済)	試験報告書	Treudler R., Richter G., Geier J., Schnuch A., Orfanos C., Tebbe B.	Increase in sensitization to oil of turpentine: recent data from a Multicenter Study on 45,005 patients from the German-Austrian Information Network of Departments of Dermatology	Contact Dermatitis 2000 (42) 68-73				

1 物質番号

作業用番号	69
CAS番号	89-84-9

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1984	Ellinger C.A. et al.	不明	不明	TA 100 TA 98 TA 1537	ブレインキュー ベーション法	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1439	陽性	1.76×10^2

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
NIH:TOXNET (TOXLINE)	原著論文	Ellinger C.A. et al.	Mutagenicity of flavones, Chromones and acetophenones in Salmonella typhimurium. New structure-activity relations.	Mutat. Res., 135 (2), 77-86 (1984)				

1 物質番号

作業用番号	198
CAS番号	111-65-9

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況 (適用、非適用)	GLP適用状況 (適用、非適用)	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、 D20値)						(プレート法、ブ レインキュベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	in vivo 小核試験(1)	陰性		不明	不明	適用	不明	mouse/		
2)	MLA(1)	陰性		不明	C. S. Baxter, L. A. Fish, and J. A. Bash	不明	不明	lymphocytes (murine spleen lymphocytes)		
3)	UDS試験(1)	陰性		不明	不明	不明	不明	不明		
4)	優性致死試験(1)	陰性		不明	不明	不明	不明	不明		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1440	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
OECD:SIDSレポート(SIAM)	参考文献の記載無し						Naphtha, (petroleum), hydrotreated light	64742-49-0
Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	C. S. Baxter, L. A. Fish, and J. A. Bash	Comitogenic activity of n-Alkane and related tumor promoters in murine lymphocytes.	Teratog., Carcinog., Mutagen., 1, p345-351				
OECD:SIDSレポート(SIAM)	参考文献の記載無し							
OECD:SIDSレポート(SIAM)	参考文献の記載無し						イソパラフィン系炭化水素	68333-81-3

1 物質番号

作業用番号	207
CAS番号	112-02-7

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	染色体異常試験(1)	陰性		不明	KUNIO I ET AL	適用	適用	V79		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1441	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
NIH:TOXNET (TOXLINE)	原著論文	KUNIO I ET AL		PREPR SCI PAP INT FED SOC COSMET CHEM CONGR 10TH 1: 139				

1 物質番号

作業用番号	221
CAS番号	112-42-5

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標（比活性値、D20値）			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスバク露法)	
1)	in vivo 小核試験(1)	陰性		1992	不明	適用	適用	mouse/albino mice, CFW 1 /male/female		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1442	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECHA: Information on Registered Substances				Year 1992			dodecan- 1-ol	112-53-8

1 物質番号

作業用番号	253
CAS番号	121-57-3

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	染色体異常試験(1)	陰性		2010	不明	適用	適用	lymphocytes		
2)	HPRT試験(1)	陰性		2010	不明	適用	適用	V79		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1443	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECHA: Information on Registered Substances	試験報告書			report,Year 2010				
EU ECHA: Information on Registered Substances	試験報告書			Year 2010,Report date 2010-12-14				

1 物質番号

作業用番号	298
CAS番号	141-53-7

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況 (適用、非適用)	GLP適用状況 (適用、非適用)	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、 D20値)						(プレート法、ブ レインキュベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1975	不明	不明	非適用	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537 TA 1538	不明	不明
2)	染色体異常試験(1)	陰性		不明	Morita, T. et al.	適用	不明	CHO		
3)	MLA(1)	陽性		不明	Cameron, T.P.	不明	不明	mouse lymphoma L5178Y cells		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1444	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB: IUCLID	試験報告書				Huels_Report No. 88/210			
US EPA:HPV チャレンジ(未 評価)	原著論文	Morita, T. et al.	Evaluation of clastogenicity of formic acid, acetic acid and lactic acid on cultured mammalian cells	Mut. Res. 240, 195- 202 (1990)				
EU ECB: IUCLID	Short Term Test Program sponsored by the devision of cancer etiology, National Cancer Institute	Cameron, T.P.						

1 物質番号

作業用番号	330
CAS番号	532-32-1

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	遺伝毒性(1)	陰性		不明	Sodemoto, Y. & Enomoto, M.	不明	適用	rat		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1445	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
JECFA: JECFA monographs	原著論文	Sodemoto, Y. & Enomoto, M.	Report of carcinogenesis bioassay of sodium benzoate in rats: absence of carcinogenicity of sodium benzoate in rats	J. Environ. Pathol. Toxicol., 4, 87-95				

1 物質番号

作業用番号	332
CAS番号	540-84-1

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	SCE試験(1)	陰性		1986	Richardson, KA; Wilmer, JL; Smith-Simpson, D; et al.	不明	不明	TK6		
2)	UDS試験(1)	陰性		1986	Loury, D. J., T. Smith-Oliver, S. Storm, R.	不明	不明	rat/Fischer 344/ mouse/B6C 3F1/CrlBR/		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1446	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
US EPA:IRIS	原著論文	Richardson, KA; Wilmer, JL; Smith-Simpson, D; et al.	Assessment of the genotoxic potential of unleaded gasoline and 2,2,4-trimethylpentane in human lymphoblasts in vitro	Toxicol Appl Pharmacol 82:316-322				
DFG:MAK and BAT								
DFG:MAK and BAT	原著論文	Loury, D. J., T. Smith-Oliver, S. Storm, R.		Toxicol. Appl. Pharmacol. 85, 11				
DFG:MAK and BAT				Environm. Mutag. 7, 70				

1 物質番号

作業用番号	350
CAS番号	659-70-1

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		不明	藤田博、 佐々木美枝 子	不明	不明	TA 97 TA 102	ブレインキュー ベーション法	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1447	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
NIH:TOXNET (TOXLINE)	原著論文	藤田博、佐々木美枝子	Salmonella typhimurium TA97, TA102 を用いた食品添加物の変異原性試験(第2報)	東京衛研年報 Ann. Rep. Tokyo Metr. Res. Lab. P.H., 38, 423-430 (1987)				

1 物質番号

作業用番号	353
CAS番号	687-47-8

2 試験結果(文献調査による)

エームス試験の詳細									
試験の種類	試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
	陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキュペー ション法、ガス ばく露法)	
1) エームス試験(1)	陰性		不明	不明	不明	適用	Salmonella	不明	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1448	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB:								

1 物質番号

作業用番号	359
CAS番号	791-28-6

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標（比活性値、D20値）			（適用、非適用）	（適用、非適用）		（プレート法、ブレインキューベーション法、ガスバク露法）	
1)	エームス試験（1）	陰性		1979	不明	非適用	非適用	TA 100 TA 98 TA 1537	不明	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1449	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB: IUCLID	試験報告書			BASF AG, department of toxicology, unpublished data, (78/708), 13.02.1979.				

1 物質番号

作業用番号	370
CAS番号	1002-62-6

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標（比活性値、D20値）			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスバク露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1996	Zeiger E. et al.	不明	不明	S. typhimurium	不明	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1450	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
NIH:TOXNET (TOXLINE)	原著論文	Zeiger E. et al.		Environ. Molec. Mutagen, 11(Suppl. 12), 1. (Cited in BIBRA Toxicity Profile, n-Decanoic acid (and its sodium and potassium salts) (1996)				

1 物質番号

作業用番号	412
CAS番号	2461-15-6

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	不確実		不明	Dean and Brooks	不明	不明	TA 98 TA 100 TA 1538 TA 92	不明	不明
2)	エームス試験(2)	不確実		不明	Zeiger et al.	不明	不明	TA 97 TA 98 TA 100 TA 1535	不明	不明
3)	エームス試験(3)	陽性	4.92 × 10 ² rev/mg	1985	不明	非適用	非適用	TA 97 TA 98 TA 100 TA 1535	不明	DMSO
4)	染色体異常試験(1)	陰性		不明	Dean and Brooks	不明	不明	cultured rat liver cells		
5)	染色体異常試験(2)	陰性		不明	不明	非適用	非適用	CHO		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1451	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
Patty's Toxicology (5th ed.)	試験報告書	Dean and Brooks		confidential report of Shell Chemicals Ltd.				
Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	Zeiger et al.		Environ. Mol. Mutagen. 11, 1				
US NTP (Database)	試験報告書	NTP			Study ID:242948			
Patty's Toxicology (5th ed.)	試験報告書	Dean and Brooks		confidential report of Shell Chemicals Ltd.				
US NTP (Database)	試験報告書	NTP			Study ID:879421			

1 物質番号

作業用番号	416
CAS番号	2495-39-8

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、D20値)			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1992	不明	適用	適用	TA 100 TA 98 TA 1535 TA 1537	プレート法、ブレインキューベーション法	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1452	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB: IUCLID	試験報告書			BASF AG, Abteilung Toxikologie, unveröffentlichte Untersuchung, (91/370), 21.09.92.				

1 物質番号

作業用番号	417
CAS番号	2530-83-8

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陽性	1次文献なし	1988	不明	適用	適用	TA 98 TA 100 TA 97	不明	EGDME
2)	エームス試験(2)	陽性	1次文献なし	1977	不明	適用	非適用	TA 100 TA 1535	不明	DMSO
3)	エームス試験(3)	陽性	1次文献なし	1979	不明	不明	非適用	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537 TA 1538	不明	DMSO
4)	エームス試験(4)	陽性	1次文献なし	1977	不明	不明	非適用	TA 100 TA 1535	不明	DMSO
5)	エームス試験(5)	陰性		1978	不明	不明	不明	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537 TA 1538	不明	DMSO
6)	in vivo 小核試験(1)	陰性		1994	不明	適用	適用	mouse/male /female/NM RI		
7)	in vivo 小核試験(2)	陽性		1998	不明	適用	適用	mouse/male /female/ICR		
8)	in vivo 小核試験(3)	陰性		1982	不明	不明	適用	mouse/CD- 1		
9)	MLA(1)	陽性		1983	不明	不明	適用	L1578Y		
10)	HPRT試験(1)	陰性		1979	不明	不明	不明	CHO		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1453	陽性	5.74×10 ²

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
OECD:SIDSレポート	試験報告書		Study to determine the ability of nineteen compounds to induce mutation in three Histidine-requiring strains of <i>Salmonella typhimurium</i> .	#: 88-0299-FGM		Degussa-Huls AG		
OECD:SIDSレポート	試験報告書			Dow Corning Corporation internal report no. 1977-I0065-1167-04.	Project No. 2838	Litton Bionetics, Inc.		
OECD:SIDSレポート	試験報告書		Mutagenicity Evaluation of [3-Glycidoxypropyltrimethoxysilane] in the Ames Bacterial Assay.	Dow Corning Corporation Internal Report Number 1979-I0005-676.		Dow Corning Corporation		
OECD:SIDSレポート	試験報告書			Dow Corning Corporation Internal Report Number 1977-I0005-524		Dow Corning Corporation		
OECD:SIDSレポート	試験報告書		Evaluation of [3-Glycidoxypropyltrimethoxysilane] for Enzyme Mediated Mutagenicity in <i>Salmonella Typhimurium</i>	Allied Corporation Project No. MA-52		Allied Corporation		
OECD:SIDSレポート	試験報告書			94-0355-DGM, Mouse Micronucleus test on Dynasylan GLYMO.		Degussa		
OECD:SIDSレポート	試験報告書				Study number G98AY06.123,	BioReliance		
OECD:SIDSレポート	試験報告書			Dow Corning Corporation Internal Report Number 1982-I0005-1017		Dow Corning Corporation		
OECD:SIDSレポート	試験報告書				Project No. 20989	Litton Bionetics, Inc.		
OECD:SIDSレポート	試験報告書		Evaluation of [3-Glycidoxypropyltrimethoxysilane] for Mammalian Cell Mutagenicity in Chinese Hamster Ovary (CHO) Cells		Project no. MA-52A	Allied Corporation		

1 物質番号

作業用番号	441
CAS番号	3982-91-0

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、D20値)			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスばく露法)	
1)	in vivo 染色体異常試験(1)	陰性		不明	不明	不明	不明	rat/male/female		
2)	in vivo 染色体異常試験(2)	陰性		不明	不明	不明	不明	mouse/male		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1454	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB: IUCLID	原著論文			Colosi-Esca, D. et al., J. Appl. Toxicol., 4, 230-235, 1984			Thiophosphoryl chloride	3982-91-0
EU ECB: IUCLID	原著論文			Tomkiv, V.M., Gig. Sanit., 68-70, 1988			Thiophosphoryl chloride	3982-91-0

1 物質番号

作業用番号	456
CAS番号	5888-33-5

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標（比活性値、D20値）			（適用、非適用）	（適用、非適用）		（プレート法、ブレインキューベーション法、ガスバク露法）	
1)	MLA（1）	陽性		不明	不明	不明	不明	mouse lymphoma L5178Y cells		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1455	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
NIH:TOXNET (TOXLINE)				947-11-W-0033 #8 Doc#FYI-OTS-0785- 0367; OTS0000377				

1 物質番号

作業用番号	493
CAS番号	7775-09-9

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1989	Life Science Research Ltd.	適用	適用	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537 TA 1538	不明	不明
2)	エームス試験(2)	陽性	1次文献に 情報なし	1982	Eckhardt, K. et al.	不明	非適用	TA 1535	不明	不明
3)	エームス試験(3)	陽性	1次文献なし	1977	Gocke, E. et al.	不明	非適用	S. typhimurium	不明	不明
4)	エームス試験(4)	陰性		1978	Hossack, D.J.N. et al.	不明	不明	TA 98 TA 100 TA 1537	不明	不明
5)	エームス試験(5)	陽性	1次文献に 情報なし	1981	Gocke, E., King, M.T., Eckhardt, K., Wild, D.	適用	非適用	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537 TA 1538	不明	不明
6)	エームス試験(6)	陰性		1999	National Toxicology Program	非適用	非適用	TA 97 TA 98 TA 100 TA 102 TA 104 TA 1535	ブレインキュー ベーション法	水
7)	染色体異常試験(1)	陰性		1985	Meier J. R. et al.	不明	非適用	mouse/B6C 3F1/male/fe male		
8)	in vivo 小核試験(1)	陰性		1981	Gocke, E. et al	適用	非適用	mouse/NMR I/		
9)	in vivo 小核試験(2)	陰性		1985	Meier, J.R. et al.	不明	不明	mouse/CD- 1/male/fem ale		
10)	in vivo 小核試験(3)	陰性		1989	Life Science Research Ltd.	不明	適用	mouse/CD- 1/male/fem ale		
11)	in vivo 小核試験(4)	陰性		1989	Life Science Research Ltd.	不明	非適用	mouse/CD- 2/male/fem ale		

12)	in vivo 小核試験(5)	陰性		1999	National Toxicology Program	非適用	非適用	mouse/B6C3F1		
13)	in vivo 小核試験(6)	陰性		不明	Meier JR et al.	不明	不明	mouse		
14)	HPRT試験(1)	陰性		1989	Life Science Research Ltd.	不明	適用	V79		
15)	BASC試験(1)	不明		1976	Schmid, W.	不明	非適用	Drosophila melanogaster/Berlin K (Wild Type)		
16)	SLRL試験(1)	不明		1982	Eckhardt, K. et al.	不明	非適用	Drosophila melanogaster		
17)	in vivo 染色体異常試験(1)	陰性		不明	Meier, J.R. et al.	不明	不明	mouse/CD-1/		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1458	陽性	8.95×10^1

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB: IUCLID	試験報告書	Life Science Research Ltd.	Sodium chlorate: assessment of mutagenic potential in histidine auxotrophs of Salmonella typhimurium (the Ames test).		LSR report no 89/SKR/0 285			
EU ECB: IUCLID	原著論文	Eckhardt, K. et al.		Mutat. Res. 97, 185				
EU ECB: IUCLID	原著論文	Gocke, E. et al.		Handbook of Mutagenicity Test Procedures, 335-373				
EU ECB: IUCLID	試験報告書	Hossack, D.J.N. et al.		Ames metabolic activation test to asses the potential mutagenic effect of sodium chlorate.		Huntingdo n Research Center		
EU ECB: IUCLID	原著論文	Gocke, E., King, M.T., Eckhardt, K., Wild, D.	Mutagenicity of cosmetic ingredients licensed in the European Communities.	Mutatuion research,90(2), p 91- 109				
JECFA: JECFA monographs	試験報告書	National Toxicology Program	Toxicology and carcinogenesis studies of sodium chlorate (CAS No. 7775-09-9) in F344/N rats and B6C3F1 mice (drinking water studies).		TR-517			
US NTP								
EU ECB: IUCLID	原著論文	Meier J. R. et al.		Environmental Mutagenesis, 7(2) 201- 211				
EU ECB: IUCLID	原著論文	Gocke, E. et al		Mutation Research 90, 91-109				
EU ECB: IUCLID	原著論文	Meier, J.R. et al.	Evaluation of chemicals used for drinking water disinfection for the production of chromosomal damage and sperm-head abnormalities in mice.	Environmental Mutagenesis, 7(2) p 201-211				
EU ECB: IUCLID	試験報告書	Life Science Research Ltd.	Sodium chlorate: assessment of clastogenic action on bone marrow erythrocytes in the Micronucleus test.		LSR report no 89/SKR00 3/0253			
EU ECB: IUCLID	試験報告書	Life Science Research Ltd.	Sodium chlorate: assessment of clastogenic action on bone marrow erythrocytes in the Micronucleus test.		LSR report no 89/SKR00 3/0253			

JECFA: JECFA monographs	試験報告書	National Toxicology Program	Toxicology and carcinogenesis studies of sodium chlorate (CAS No. 7775-09-9) in F344/N rats and B6C3F1 mice (drinking water studies).		TR-517				
US NTP									
WHO: 飲料水質ガイドライン	原著論文	Meier JR et al.	Evaluation of chemicals used for drinking water disinfection for production of chromosomal damage and sperm-head abnormalities in mice.	Environmental Mutagenesis, 7:201-211				塩素酸ナトリウム	7775-09-9
EU ECB: IUCLID	試験報告書	Life Science Research Ltd.	Sodium chlorate: invetigation of mutagenic activity at the HGPRT locus in a chinese hamster V79 cell mutation system.		LSR report no 89/QSKR 002/0631				
EU ECB: IUCLID	原著論文	Schmid, W.		Chemical Mutagens 4, 31-53					
EU ECB: IUCLID	原著論文	Eckhardt, K. et al.		Mutat. Res. 97, 185					
EU ECB: IUCLID	原著論文	Meier, J.R. et al.	Evaluation of chemicals used for drinking water disinfection for production of chromosomal damage and sperm-head abnormalities in mice.	Environmental Mutagenesis 7(2) p 201-211				塩素酸ナトリウム	7775-09-9
JECFA: JECFA monographs									
WHO: 飲料水質ガイドライン									

1 物質番号

作業用番号	502
CAS番号	7789-23-3

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、D20値)			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスバク露法)	
1)	MLA(1)	陽性		1987	W.J. Caspary; B. Myhr; L. Bowers; D.McGregor; C.Brown;	不明	不明	mouse lymphoma L5178Y cells		
2)	MLA(2)	陽性		不明	NTP	非適用	非適用	mouse lymphoma L5178Y cells		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1459	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB: IUCLID	試験報告書	W.J. Caspary; B. Myhr; L. Bowers; D.McGregor; C.Brown;		Mutat. Res. Vol 187, Iss 3, 165-180				
US NTP (Database)	試験報告書	NTP			Study ID:712642			

1 物質番号

作業用番号	514
CAS番号	10025-78-2

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1981	不明	適用	適用	TA 100 TA 98 TA 1535 TA 1537 TA 1538	プレート法	エタノール
2)	エームス試験(2)	陰性		1981	不明	不明	適用	Salmonella	不明	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1460	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECHA: Information on Registered Substances	試験報告書			study report,Year 1981,Report date 1981-04-05				
EU ECB: IUCLID	試験報告書			Dow Corning Corp., Report No. I-0005- 0847, April 6, 1981				

1 物質番号

作業用番号	516
CAS番号	10026-04-7

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標（比活性値、D20値）			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスバク露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1975	Isquith et al.	適用	不明	TA 98 TA 100 TA 1537 TA 1535 TA 1538	不明	不明
2)	エームス試験(2)	陰性		1975	Isquith et al.	適用	適用	TA 97 TA 98 TA 100	不明	不明
3)	MLA(1)	陰性		不明	Isquith et al.	非適用	不明	L5178Y cells		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1461	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECB: IUCLID	原著論文	Isquith et al.		Fd. Chem. Toxic. 26, 255-261				
EU ECB: IUCLID	原著論文	Isquith et al.		Fd. Chem. Toxic. 26, 255-261				
EU ECB: IUCLID	原著論文	Isquith et al.		Fd. Chem. Toxic. 26, 255-261				

1 物質番号

作業用番号	518
CAS番号	10043-01-3

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		不明	Krewski et al.	不明	不明	TA 98 TA 100 TA 102 TA104 TA1000	不明	不明
2)	in vivo 染色体異常試験(1)	陽性		不明	Roy et al.	不明	不明	rat		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1462	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
CEPA: Priority Substance Assessment Program Assessment Reports	原著論文	Krewski et al.	Human health risk assessment for aluminium, aluminium oxide, and aluminium hydroxide.	J Toxicol Environ Health B Crit Rev. 2007; 10 Suppl 1: 1-269				
CEPA: Priority Substance Assessment Program Assessment Reports	原著論文	Roy et al.	Effects of aluminum salts on bone marrow chromosomes in rats in vivo.	Cytobios 66 : 105-111.				

1 物質番号

作業用番号	522
CAS番号	10361-37-2

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況 (適用、非適用)	GLP適用状況 (適用、非適用)	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、 D20値)						(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		不明	不明	不明	不明	不明	不明	不明
2)	染色体異常試験(1)	陰性		不明	不明	不明	不明	CHO		
3)	SCE試験(1)	陰性		不明	不明	不明	不明	CHO		
4)	MLA(1)	陰性		不明	不明	不明	不明	L5178Y cells		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1463	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
OECD:SIDSレポート								
OECD:SIDSレポート								
OECD:SIDSレポート								
OECD:SIDSレポート								

1 物質番号

作業用番号	527
CAS番号	12069-69-1

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、D20値)			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1994	不明	適用	適用	TA 100 TA 98 TA 1535 TA 1537 TA 102	ブレインキューベーション法	水
2)	in vivo小核試験(1)	陰性		1994	不明	適用	適用	mouse/CD1 /male/female		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1464	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECHA: Information on Registered Substances	試験報告書			study report,Year 1994			硫酸銅5水和物	7758-99-8
EU ECHA: Information on Registered Substances	試験報告書			study report,Year 1994			硫酸銅5水和物	7758-99-8

1 物質番号

作業用番号	529
CAS番号	13463-41-7

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		不明	Zieger et al.	不明	不明	S. typhimurium	不明	不明
2)	エームス試験(2)	陰性		不明	Skoulis et al.	不明	不明	S. typhimurium	不明	不明
3)	エームス試験(3)	陰性		1982	NTP	非適用	非適用	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537	ブレインキュー ベーション法	DMSO
4)	エームス試験(4)	陰性		1982	NTP	非適用	非適用	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537	ブレインキュー ベーション法	DMSO
5)	染色体異常試験(1)	陰性		不明	Skoulis et al.	不明	不明	CHO		
6)	in vivo小核試験(1)	陰性		不明	Skoulis et al.	不明	不明	a mouse micronucleu s (bone marrow)		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1465	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	Zieger et al.		Environ. Mutagen. 9, 1-110				
Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	Skoulis et al.		J. Appl. Toxicol. 13, 283-289				
US NTP (Data base)	試験報告書	NTP			Study ID:941167			
US NTP (Data base)	試験報告書	NTP			Study ID:053040			
Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	Skoulis et al.		J. Appl. Toxicol. 13, 283-289				
Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	Skoulis et al.		J. Appl. Toxicol. 13, 283-289				

1 物質番号

作業用番号	538
CAS番号	16090-02-1

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況	GLP適用 状況	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の 別	強さの指標 (比活性値、 D20値)			(適用、非 適用)	(適用、非 適用)		(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1991	Poth A	適用	適用	TA 1535 TA 1537 TA 1538 TA 98 TA 100	不明	不明
2)	エームス試験(2)	陰性		1976	McGregor DB et al.	不明	非適用	TA 1535 TA 1538	不明	DMSO
3)	染色体異常試験(1)	陰性		1991	Heldemann A	適用	適用	V79		
4)	染色体異常試験(2)	陰性		1977	Ishidate M Jr et al.	不明	非適用	CHL		
5)	in vivo 小核試験(1)	陰性		1991	Voelkner W	適用	適用	mouse/NMR I/male/femal e		
6)	in vivo 小核試験(2)	陰性		1975	Muller D	不明	非適用	hamster, Chinese		
7)	in vivo 染色体異常試験(1)	陰性		1975	Muller D	不明	非適用	hamster, Chinese		
8)	優性致死試験(1)	陰性		1971	Muller D	不明	非適用	mouse/NMR I/male		

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1466	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Poth A	Salmonella typhimurium reverse mutation assay with FAT 65'023・L	Report CCR Project No. 231311		CCR Cytotest Cell Research GmbH & Co. LG, Rossdorf, Germany		
OECD:SIDSレポート	原著論文	McGregor DB et al.	Lack of mutagenic activity in Salmonella typhimurium of four optical brighteners.	Mutation Research, 40, 168-172.				
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Heldemann A	Chromosome aberration assay in Chinese hamster V79 cells in-vitro with FAT 65'023/L.	Report CCR	Project No. 231322	CCR Cytotest Cell Research, Rossdorf, Germany		
OECD:SIDSレポート	原著論文	Ishidate M Jr et al.	Chromosome tests with 134 compounds on Chinese Hamster Cells in vitro - a screening for chemical carcinogens.	Mutation Research 48: 337-354				
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Voelkner W	Micronucleus assay in bone marrow cells of the MOUSE WITH FAT 65'023/L	Report CCR Project No. 213333		CCR Cytotest Cell Research, Rossdorf, Germany	FWA-1	16090-02-1 56776-30-8
OECD:SIDSレポート	原著論文	Muller D	VII/10 Nucleus anomaly test and chromosomal analysis of bone marrow cells of the Chinese hamster and dominant letha test in male mice after treatment with fluorescent whitening agents.	EQS Environmental Quality and Safety, Suppl. Vol. IV, 247-263				
OECD:SIDSレポート	原著論文	Muller D	VII/10 Nucleus anomaly test and chromosomal analysis of bone marrow cells of the Chinese hamster and dominant letha test in male mice after treatment with fluorescent whitening agents.	EQS Environmental Quality and Safety, Suppl. Vol. IV, 247-263				
OECD:SIDSレポート	原著論文	Muller D	Arnold D.Mutagenic study with FA-15 in Albino mice.August 19,1971.Industrial Bio-Test		Report IBT No.E9647	Laboratories Inc.,Northbrook,IL,USA		

1 物質番号

作業用番号	541
CAS番号	16721-80-5

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標（比活性値、D20値）			（適用、非適用）	（適用、非適用）		（プレート法、ブレインキューベーション法、ガスバク露法）	
1)	エームス試験（1）	陽性	一次文献なし	1981	不明	適用	適用	TA 100 TA 98 TA 1535 TA 1537	ブレインキューベーション法	水

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1467	陽性	1.76×10 ²

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
EU ECHA: Information on Registered Substances	試験報告書			study report,Year 1989,Report date 1989-03-20				

1 物質番号

作業用番号	550
CAS番号	20324-33-8

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン 適用状況 (適用、非適用)	GLP適用状況 (適用、非適用)	使用菌株、 使用細胞、 使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、 D20値)						(プレート法、ブ レインキューベ ーション法、ガス ばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		1982	Mendrala, A.L., Schumann, A.M	適用	適用	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537 TA 1538	不明	不明
2)	エームス試験(2)	陰性		1982	A. L. Mendrala	適用	不明	不明	不明	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値 (Rev/mg)
T-1468	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
OECD:SIDSレポート	試験報告書	Mendrala, A.L., Schumann, A.M	Evaluation of Dowanol TPM in the Ames Salmonella/Mammalian in microsomal mutagenicity assay.		Confidential report of the Dow Chemical Company, HET K-005534-003		トリプロピレングリコールモノメチルエーテル(混合物)	25498-49-1
Patty's Toxicology (5th ed.)	試験報告書	A. L. Mendrala				The Dow Chemical Company		

1 物質番号

作業用番号	580
CAS番号	36653-82-4

2 試験結果(文献調査による)

									エームス試験の詳細	
試験の種類		試験結果		試験実施年	試験実施者	テストガイドライン適用状況	GLP適用状況	使用菌株、使用細胞、使用動物	試験手法	試験溶媒
		陽性・陰性の別	強さの指標 (比活性値、D20値)			(適用、非適用)	(適用、非適用)		(プレート法、ブレインキューベーション法、ガスばく露法)	
1)	エームス試験(1)	陰性		不明	R. D. Blevins and D. E. Taylor,	不明	不明	TA 98 TA 100 TA 1535 TA 1537 TA 1538	不明	不明

※強さの指標は、エームス試験及び染色体異常試験の場合のみ記入。

3 平成25年度実施のエームス試験の評価結果

試験番号	結果	最大比活性値(Rev/mg)
T-1469	陰性	

2次文献	1次文献情報						評価物質と異なる場合	
情報源名	文献の種類	著者情報	タイトル	書誌事項	試験番号	試験機関	物質名	CAS番号
Patty's Toxicology (5th ed.)	原著論文	R. D. Blevins and D. E. Taylor,	Mutagenicity screening of twenty-five cosmetic ingredients with the salmonella/microsome test	J. Environ. Sci. Health, Part A A17(2), 217-239				